

## 平成29年室内環境学会学術大会報告

大会長 市場正良（佐賀大学医学部）

平成29年学術大会は、12月13日（水）、14日（木）に佐賀市文化会館で開催した。例年は、木、金の開催であるが、会場確保の都合で水、木の開催となった。九州で行うのは沖縄を除くと平成25年の佐世保大会以来となる。佐藤九州支部長（長崎国際大）の提案で、佐世保大会の実行委員会が再集合となった。心強い協力であった。

遠い九州での開催であることから、つくば大会の8割程度の参加規模と考え準備を進めた。適当な大きさの会場が確保できず、確保した会場は、主会場は参加者数に比べ大きすぎた。そのため、ゆとりを持って座れたのではないかと。口頭発表42題は、2会場で実施した。ポスター発表68題は、展示会場は、機器展示と同じ場所を確保できた。当初の予定通り約240名の参加を得た。機器展示も13社の参加を頂いた。参加者の皆様に、感謝します。

今大会の特徴は、抄録集の印刷発送をやめ、pdfファイルのダウンロード形式としたことである。経費の削減が目的であり、理事会、実行委員会とも賛成いただいた。会員には、会報2号で、パスワードを提示した。発表者には、それを事前に配信している。非会員の参加者には、個別にパスワードを配信した。自身で印刷しなければならぬ不便さはあるが、カラーで抄録が見えることは利点であったのではないかと。

シンポジウムは、学会長が医学系であることから、室内環境の健康影響をテーマに、物理的、化学的、生物的要因について公衆衛生系の演者で企画した。シンポジウムの内容は、記録として残すために、総説として学会誌に掲載するのはいかがであろうか。ポスター説明は、例年昼休みに行われる。昼休みに、参加者を会場に留めるために、軽食配布を行った。200食を用意したが、ほぼ配布できた。佐賀の銘菓も、軽食と共に、配布し、佐賀の宣伝も兼ねた。また機器展示にも、参加者が訪れてもらうように、機器展示紹介をポスター発表の後にいった。効果はあったであろうか。学生懇談会や分科会も盛況であったようである。大会長奨励賞として口頭2件、ポスター5件を選考した。ポスター賞は、学生発表に限ったが、それでも30件程度あり、選考に苦労した。選考された発表は、論文にまとめ、学会誌に投稿することを求めればと思う。懇親会は、当初の予定より参加者が多く、十分な食事量を提供できなかったことは、お詫びする。金曜にも何か行事があればということで、吉野ヶ里遺跡ツアーを企画した。参加者は、わずかであったが、神埼市の観光課の方の案内は好評であった。

経費面では、佐賀県観光協会の補助を得るために、宿泊証明書の回収をお願いした。お礼として羊羹と交換したが、予定通り回収できた。皆様に感謝する。

最後に、いろいろとアドバイス頂いた理事会、学会事務局に感謝する。次回、東工大での大会の盛会を祈念します。



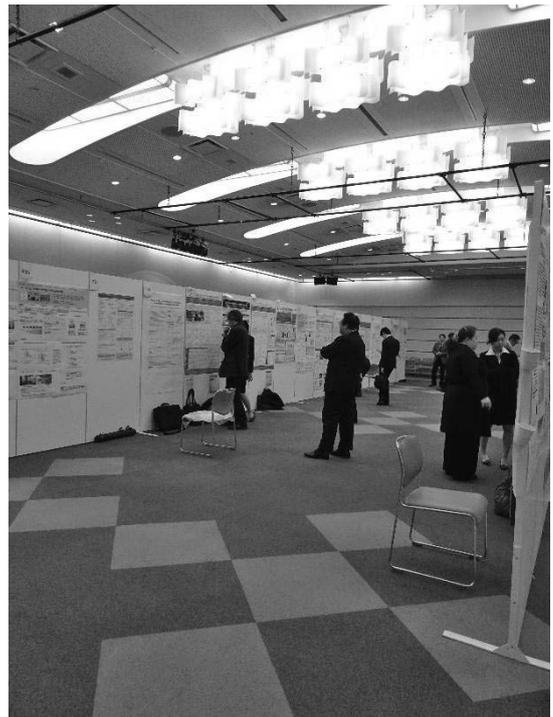
会場となった佐賀市文化会館



A会場となった中ホール



シンポジウム「室内環境と健康—これからの課題—」



ポスター会場の様子



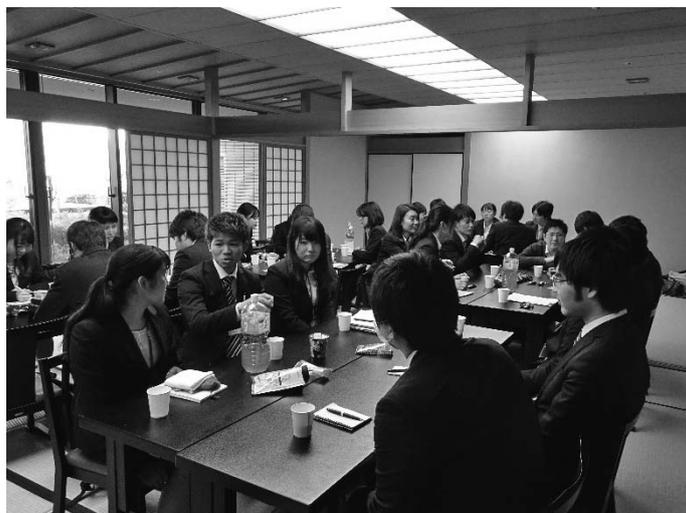
宿泊証明提出者に手渡されたお土産



口頭発表が行われたC会場



災害時室内環境分科会の公開キックオフ会合



学生懇談会的一幕